

## 平成22年度共同研究の概要(成果報告書抜粋)

**研究種別:** 一般研究

**研究代表者:** 登尾 浩助 (明治大学 農学部・教授)

**研究協力者:** 登尾浩助 (明治大学農学部 教授)、落合博之(明治大学研究・知財戦略機構 研究推進員)、太田晋平(明治大学農学研究科 大学院生)

**研究題目(和文):**

点滴灌漑下における肥料分布の温室効果ガス発生への影響

**研究概要(和文):**

農地からの温室効果ガス発生抑制と食糧生産の維持を同時に満足する必要に迫られている。点滴灌漑は水分・養分利用効率の面から優れているので、特に窒素肥料を起源とする温室効果ガスである亜酸化窒素ガス(N<sub>2</sub>O)の発生抑制に有効ではないかと考えた。本申請研究では、点滴灌漑下において液肥適用を制御することによって土壤中における肥料分布を変化させて、硝化・脱窒による N<sub>2</sub>O 発生への影響を把握し、N<sub>2</sub>O 削減と収量維持に対して適切な液肥管理法を開発することを目的とする。